

令和3年度 議会報告会
実施報告書

はじめに

湖西市議会では、湖西市議会基本条例を平成27年4月1日に施行しました。

この条例にうたう議会報告会は、議会活動に関する情報を直接市民に報告するとともに、議会活動に対する意見や要望を直接市民の皆様から聴取することで、積極的な意見交換を図り、市政に対する関心をより高めて頂くことを目的に開催しています。

本年度におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から令和2年度と同様に、対面方式による議会報告会は中止としましたが、新たな試みとしてオンラインによる意見交換会を開催いたしました。

市議会として初めてのオンラインによる意見交換会ということもあり、参加者を限定しての開催とさせていただきました。参加者の皆様からは、意見交換会やアンケートによって多くのご意見を頂けましたことに厚く御礼申し上げます。

皆様から頂戴した貴重なご意見は、課題を整理し、今後の市議会の改善や政策提言など、(市民の皆様のご意向を)議会活動に反映してまいります。

湖 西 市 議 会

目 次

	ページ
1 議会報告会開催日等	1
2 意見交換	2
テーマ① 常任委員会ごとの調査研究事項に沿ったテーマ	
総務経済委員会	2
(1) 職場における災害対応について	
(2) 普段の情報収集の方法について	
福祉教育委員会	4
湖西市立学校の規模及び配置について	
建設環境委員会	5
ごみの減量、資源化への取り組みについて	
テーマ② 議会・議員活動について、議員に聞きたいこと。	6
3 参加者アンケートにおける意見	7

1 議会報告会開催日等

開催日時	令和4年1月26日（水） 19時00分～20時30分						
参加者	<p>KSLから9名の方にご参加いただきました。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e0f2f7;"> <p>KSL (Kosai Saiko Labo) とは ⇒ 市内在住、在勤の若い世代の方が、未来の湖西について様々なテーマで意見交換を行うことを目的とした集まり。</p> </div>						
テーマ	① 常任委員会ごとに調査研究事項に沿ったテーマを選出し、それぞれのテーマについて意見を伺いました。						
	<table border="1"> <tr> <td>総務経済委員会</td> <td>(1) 職場における災害対応について (2) 普段の情報収集の方法について</td> </tr> <tr> <td>福祉教育委員会</td> <td>湖西市立学校の規模及び配置について</td> </tr> <tr> <td>建設環境委員会</td> <td>ごみの減量、資源化への取り組みについて</td> </tr> </table>	総務経済委員会	(1) 職場における災害対応について (2) 普段の情報収集の方法について	福祉教育委員会	湖西市立学校の規模及び配置について	建設環境委員会	ごみの減量、資源化への取り組みについて
	総務経済委員会	(1) 職場における災害対応について (2) 普段の情報収集の方法について					
	福祉教育委員会	湖西市立学校の規模及び配置について					
	建設環境委員会	ごみの減量、資源化への取り組みについて					
② 議会・議員活動について、議員に聞きたいこと。							

【オンラインによる意見交換会の様子】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、対面方式とはせず、オンライン（Zoom）により開催しました。



▲参加者は自宅などから参加

2 意見交換

テーマ① 常任委員会ごとの調査研究事項に沿ったテーマ

総務経済委員会

(1) 職場における災害対応について

<背景・経緯>

近年は、毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、大きな被害が発生している。多様化する自然災害は湖西市においても発生する可能性は十分あり、日頃からの備えが重要である。しかし、新型コロナウイルス対策により各地区の避難訓練が中止となっていたり、災害発生時には感染対策との両立を図りながらの対応を余儀なくされたりなど、コロナとの共存もまた喫緊の課題である。

そこで総務経済委員会では、災害対策を含めた避難所運営について調査研究を始め、ハザードマップや各避難所の運営マニュアルの確認、市危機管理課との情報交換等を行っているところである。

<質問 1> 各職場では普段からどのような備えをしているか。災害発生時、各職場ではどのように行動することになっているか。

<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none">・防災組織表を毎年作成している。情報連絡班、防災点検班、避難誘導班など、災害発生時に対応ができるような組織表がある。・各支店ごとに備蓄品（水、乾パンなど）がある。・業務用携帯に災害時、緊急速報メールが入ってくる。いち早く災害に気付くことができる。
<input checked="" type="checkbox"/>	防災組織表の作成、備蓄品、業務用携帯に災害時にはメールが入る。（身の回りの安全、出勤できるかということを全員で共有できるようになっている。）
<input checked="" type="checkbox"/>	半年に1回避難訓練、支店全員が地震のとき、津波のときの避難場所を確認
<input checked="" type="checkbox"/>	年2回防災訓練を実施。職員、事業者含め数百人程度で実施。
<input checked="" type="checkbox"/>	緊急時には災害時の避難所になっている。数千人分の食糧を確保。年間予算を使って備蓄品は随時更新している。

<質問2> 実際に地震がおきたとき、利用者・お客さんをどのように誘導するのか、誘導場所の設定がされているか。

<input checked="" type="checkbox"/>	津波の場合は、隣接するホテルの屋上に避難するようになっている。
<input checked="" type="checkbox"/>	避難誘導場所は決まっているが、臨機応変に対応することになっている。

(2) 普段の情報収集の方法について

<背景・経緯>

新型コロナウイルスの拡大により、社会全体、とりわけ国や自治体のデジタル化の遅れが浮き彫りとなり、変容する社会の中でデジタルの重要性が改めて国民に認識されることとなった。国は、国や地方行政のIT化やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を目的としたデジタル庁を創設し、湖西市においても令和3年2月に「湖西市デジタルファースト宣言」の発表、10月には「湖西市DX推進計画」の策定がされたところである。DXの推進により私たちの生活がよりよいものに変容していくことには期待が持てるが、忘れてはならないのが高齢者をはじめとする方々のデジタルデバインド対策である。

総務経済委員会では、日々進化するデジタル社会において、いかに高齢者をはじめとする方々を取り残さない取り組みをしていけるか注視しているところである。

※デジタルデバインド…情報通信技術（IT、特にインターネット）を利用できる者と利用できない者との間にもたらされる格差のこと。

<質問1> どんなツールで情報収集しているのか。

<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホでデジタル版の新聞を見ている。紙だとかさばる。デジタル版だと1か月分保存可能である。 ・ヤフーニュースなどでタイムリーな情報を入手。湖西市LINEも登録。
<input checked="" type="checkbox"/>	夕方の地方ニュース（TV）、湖西市LINE
<input checked="" type="checkbox"/>	湖西市LINE、夕方のテレビニュース

<質問2> 事業所の情報を高齢者に対してどんな情報発信をしているのか

<input checked="" type="checkbox"/>	(紙媒体の)パンフレットの送付、自宅への電話が多い。
<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・公式ラインによる情報発信。 ・お店ごとに高齢者セミナー（スマホセミナー、認知症セミナー、ヨガセミナーなど）を開催し、そういった場で情報を発信している。
<input checked="" type="checkbox"/>	告知しているツイッター、ホームページを見ない人が多い。

福祉教育委員会

湖西市立学校の規模及び配置について

<背景・経緯>

少子化が予想を上回る速さで進んでおり、その中で学校施設の老朽化もあり、大規模改修するのか、新たに建設するのかという検討の時期を迎えている。湖西市立学校における今後の適正規模や適正配置について考えをまとめる必要があることから、現在、市の教育委員会においては、湖西市立学校教育施設適正化検討委員会を立ち上げ、検討を進めている。福祉教育委員会としても、子どもたちの教育環境をよりよくするために、調査研究を進めているところである。

<質問1> 通っていた小学校の状況は。

<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none">・奈良県出身。人口は7千人。自身の学校は2クラスで各25～30人。寂しいという思いはあった。・小中学校は各1校のみであったため、9年間ほぼ同じメンバー。仲は良いが新たな出会いはなかった。
<input checked="" type="checkbox"/>	新居小学校に通っていて、1クラス32人程度で5クラスあった。
<input checked="" type="checkbox"/>	浜松市出身。1クラスのみで25人。それが普通だと思っていたので寂しいという思いはなかった。
<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none">・数年前に母校が廃校となった。小中一貫で他の学校と統合した。・自分の母校がなくなるのことは悲しいことなので、心のケアは必要だと思う。

<質問2> 1学年で何学級が適当か。1学級何人くらいが理想か。

<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none">・自身の小学校は、3クラス各30人、中学校は、7クラス各30人（3つの小学校が集まる）・7クラスもあると3年間話したことがない人もいる。1クラスでは代わり映えしないため、2クラス～3クラスくらいあればいいと考える。
<input checked="" type="checkbox"/>	・東京都伊豆大島出身。1クラスであったが、人数が少ないと仲良くなれる。ただ、少ないと交流の機会が失われてしまう。また、クラス替えがあった方が子供の成長、教育にはよいと思う。最低でも2クラス、各20人くらいいたほうがいい。

＜質問3＞ 小規模校を統合すると考えた場合、どのような配慮が必要と考えるか。

<input checked="" type="checkbox"/>	<p>・母校は廃校となっている。逆に質問をしたい。統廃合した場合、学校の跡地の活用は考えているのか。</p> <p>⇒（議員の回答）</p> <p>公共施設の適正化配置計画の中で議論し、検討していくことになると思う。地域で活用できるよう市としても考えていくのではないか。福祉教育委員会としても跡地利用については問題意識を持っており、議会としても行政をフォローしていくようになると思う。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>・廃校になった小学校をグランピング施設に改良して、地元の通っていた生徒を招待するという取り組みをしている自治体があった。</p> <p>・廃校になった小学校を、湖西市、全国の人が利用できるといい。そういった形で自分の母校が残っていくことはいいことだと思う。</p>

建設環境委員会

ごみの減量、資源化への取り組みについて

<p>＜背景・経緯＞</p> <p>湖西市では、環境問題への計画的な取り組みを推進するため、令和3年3月に第3次環境基本計画が策定された。</p> <p>また、可燃ごみの処理方法が令和6年2月より浜松市委託から湖西市環境センターにて焼却再開となり、これに伴ってごみ出しルールが変更になるなど、市民生活にも大きな影響が出てくる。</p> <p>今後、市民、事業所、行政が一丸となって更なるごみ減量、資源化（リサイクル）などへの取組を推進することが求められている。</p> <p>ごみ減量によりCO²の削減や埋立処分場の延命化、ごみ処理経費の削減などが期待される。</p>	
---	--

＜質問1＞ 家庭や職場でごみの減量やリサイクルの取り組みは。取組の推進に当たって困っていることは。

<input checked="" type="checkbox"/>	文具、用品の購入をする際、簡易包装を選んでいる。
<input checked="" type="checkbox"/>	簡易包装を選ぶ。ごみの分別、リサイクルを意識している。
<input checked="" type="checkbox"/>	家庭ごみも分別、古紙など再利用できるものは資源ごみとして出したり、地道な取り組みをしている。
<input checked="" type="checkbox"/>	豊橋市在住。引っ越してきたばかりでごみの分別方法が分かっていない。引っ越してきたときにアナウンスの紙をもらっていない。引っ越してきたばかりの人にしっかりアナウンスすることが重要であると思う。
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>・浜松市在住。燃える燃えない、プラごみ、空き缶の分別などに取り組んでいる。</p> <p>・浜北の祖父母は生ごみを肥料にするようなごみ箱を利用して、リサイクルを自主的に行っている。</p>
<input checked="" type="checkbox"/>	職場では不法投棄が結構あり、問題として意識している。

<質問 2> 職場で出る産業廃棄物や二酸化炭素などの削減について、事業所として工夫している取組みは。

<input checked="" type="checkbox"/>	個別に産業廃棄物業者と契約している。職場で減らす努力をしようということはあまり聞いたこない。
<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙資料は、1日で木一本分くらいになるのでは。 ・「どうしたら紙資料を削減できるか」ということをテーマとして、支店単位で取り組んでいる。 ・ペーパーレスは進んでいるが、実態は、紙資料の保管、紙資料で上司へ相談するなどが多い。 ・少しずつなくそうという動きはあり。できる限り電子化して保存するようにしている。
<input checked="" type="checkbox"/>	ペーパーレスの取組あり。メールのやりとり、電子的なものでやりとり、上司とのやりとりも電子化で行うようになっている。

<質問 3> 食品ロスについて気を付けていることは。

<input checked="" type="checkbox"/>	食べ残さない。食べきれるものを注文、購入する。
-------------------------------------	-------------------------

<質問 4> 湖西市に期待することは。

<input checked="" type="checkbox"/>	年始の燃えるごみの回収が1月6日からであり、1週間程度ごみの回収がなかった。ゴミを減らそうと思ったが、結構多かった。回収の間隔がもっと短ければよかった。
-------------------------------------	--

テーマ② 議会・議員活動について、議員に聞きたいこと。

<参加者からの質問と議員の回答>

No.	質問（参加者）	回答（議員）
1	湖西市の議員にどうやったらなれるのか。貢献した実績がないとなりにくいのか。若い人はなりにくいのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に3か月在住。多くの市民の支持を得ないとなれない。地域性が強いところもあるし、全域から支持を得ている人もいる。決め手はないが、議員になりたいという意思をいかに市民に知らせることができるかということが大事。思いがあれば立候補できる。 ・友達を1,200人つくる。25歳以上は市議会議員になれる。チャンスはいくらでもある。R5.4に選挙。1年以内に湖西市に転入を。 ・議員になるには家族の協力が必要。家族の協力がないと議員活動は難しい。
2	普段の仕事と議員活動のスケジュール感は。	<ul style="list-style-type: none"> ・副議長として月曜日から金曜日まで議会に来ている。議長とともに行政からの報告を受けたり、空いた時間で所属の委員会の勉強したりしている。土日は自分の活動をしており、地域の方々と交流をするなどしている。

No.	質問（参加者）	回答（議員）
3	豊田佐吉記念館、道の駅、新居関所は行ったことがあるが、議員おすすめの観光スポットは。	<ul style="list-style-type: none"> ・景色がいいところは海湖館。今後開発されていきグランピングのようなものができて、市外からの観光客の呼び込みができるようになったらいい。 ・新居町には多くの居酒屋がある。 ・新居ではまちあるきマップを作成し、新聞でも紹介されている。
4	浜松市は防潮堤ができたが、湖西市では防潮堤の建設の議論はされているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・湖西市でも防潮堤の話は出ている。新居町から白須賀にかけて浜名バイパスがあり、7mから8mの高さがあるが、浜松市の防潮堤には及ばない。湖西市だけの予算だけでは難しいが、防潮堤建設の計画については、議会としてもお願いしているところである。 ・命山や避難デッキができ、避難空白地域は解消できた。命を助けることはできても財産は守れないので、防潮堤は必要と考える。
5	議員になってよかったと思うことは。	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり多くはない。障がい者福祉をなんとかしたいが、なかなか進まないのが現状である。そこが解決できればよかったと思えるときが来ると思う。 ・小学生の女兒から選挙の街頭演説の時に拍手をいただき「頑張ってください。応援しています。」と言われたことがあり、子どもにも自分のやりたいことが伝わったんだと思い、そのときが本当にうれしかった。 ・市民の声を行政に届けて結果が出た時。結果が出ることは少なく、叱咤されることの方が多い。 ・まだよかったという思いはない。市民の代表としての責任は重いと感じている。
6	湖西市としてスポーツのチームを作るなどの検討をしているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ具体的な話は聞いていない。現段階ではそういった動きはない。 ・各企業のチームとしてはあるが、湖西市としてはない。 ・中学校のバレーボール部が強いなど、中学校までは良い成績でいくが、そこから先は続いていないというのは課題である。

3 参加者アンケートにおける意見

問：参加人数（9名）はいかがでしたか。

⇒ 参加者のうち2名が「少ないと感じた」と回答

- ・様々な業種の方が集まると、もっと多様な意見が出てくると感じた。
- ・15名程度 5～6業種の方が居ると色々な意見がでて良いと思います。

<その他の意見>

- ・はじめてのZoom開催でしたが、進行もスムーズで良かったです。